

街歩きヒストリア



二の鳥居と参道の写真

饒津神社(にぎつじんじゃ) 二葉の里

③4

JR 広島駅北口から徒歩 15 分。広島城の鬼門に当たる方角、二葉山麓にあります。宝永 3 年(1706)、浅野 4 代藩主の綱長が、藩祖である浅野長政の位牌堂を建立したのがはじまりだとされています。

その後 9 代藩主、浅野斉肃が社殿を現在の場所に造営。二葉山御社と称していましたが、明治 6 年(1873)、饒津神社に改称されました。

原爆投下の折には、石灯籠・手水鉢などの石造物だけが残るという甚大な被害を受けました。被災して市中心部から逃れてきた人々の避難所となりましたが、多くはこの境内で落命したとのことです。広島の史跡は、悲しい歴史と共存していますね。

(文、写真・小川 敏明さん)

中央公民館エリア(白島、基町、幟町)の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。

標柱と参道の写真↓



HP(検索:広島市中央公民館)にバックナンバーを掲載しています。ぜひご覧ください。